

平成27年度

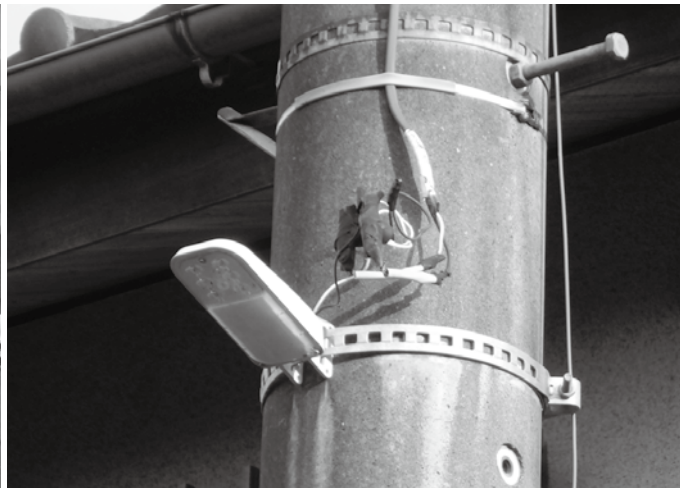
決

主な事業

- ①松伏第二小学校体育館吊り天井等改修工事
- ②町営運動場にトイレを設置
- ③防犯灯をLEDに更新、3ヶ年計画スタート
- ④農村トレーニングセンターを改修、北部拠点を活性化



完成した第二小学校体育館吊り天井



防犯灯をLEDに更新

歳入

一般会計 主な質疑

問	答
町税の決算額は、30億9,139万円でしたが、前年に比べ3,947万円の減額になった理由は。	税務課長 3点あり、3年に一度の家屋の評価替えによる固定資産税の減額、所得の伸び悩み等による個人町民税の減額、法人税割の税率の引き下げによる法人町民税の減額である。
地方消費税交付金は、前年度比1億9,477万円増加した。どんな社会保障施策にあてられたのか。	企画財政課長 障害福祉サービス支援、放課後児童保育、児童福祉施設保育、国民健康保険、介護保険にも充当した。
ふるさと納税寄附金の成果は。	企画財政課長 352万円の寄附があった。納税をいただいた方へ返礼品として松伏推奨特産品を送った。寄附者の意向に従い、子育て支援、教育施設や行政運営の充実の施策に充当した。
町債は、どんなものに使われたのか。	企画財政課長 赤岩橋補修工事620万円、かがり火公園の整備に2,880万円、防災行政無線デジタル化改修工事3,930万円、松伏第二小学校体育館吊り天井等改修工事にあてた。

算 認定する

9月定例会（9月1日から9月23日まで）

歳入 156億1,921万円
歳出 147億5,068万円



3月に完成した「かがり火公園」

歳出

一般会計 主な質疑

問	答
地産地消促進事業費300万円の補助の内容と成果を問う。	環境経済課長 直売所の開設に要する費用の一部を補助することにより、生産者と消費者の結びつきの強化を図ることで農業を通して地域間の連携を推進する。地産地消を促進し、生産者の収入向上に資することを目的としたもの。前松伏町役場敷地内と比べ、来場者、売上高とも増加した。
LED防犯灯更新工事の進捗とその効果を問う。	総務課長 平成27年初年度は520基設置。平成29年度までの3年間で、町内全て約3,500基の防犯灯をLED化する。平成28年度1,000基、平成29年度約1,500基を更新予定。町民からの好評を頂いており、電気料金が低減され、メンテナンスに係る経費の削減も期待できる。
「高校生による選挙事務を埼玉県知事選挙から行った」ことへの取り組みと成果を問う。	総務課長 埼玉県知事選挙から、近い将来有権者となる高校生が選挙事務の体験を通じ、選挙への関心を高め有権者に向けた選挙啓発を目的として地元松伏高校との連携・協力をもとに選挙事務の体験事業を実施した。選挙人が高校生とコミュニケーション機会増により投票しやすい雰囲気づくりに貢献している。高校生の選挙への興味、投票したいとの声も出た。
平成27年から始った生活困窮者自立支援制度に関する相談はあったか。	福祉健康課長 平成27年度の相談件数は8件あり、うち4件はアスポート相談支援センターと生活保護担当に情報提供した。
平成27年度の待機児童の状況は。	福祉健康課長 平成27年4月1日現在の待機児童はゼロ人。平成27年10月1日現在の待機児童は11人である。
松伏町けんこうクラブ助成金の内容、成果について問う。	住民ほけん課長 松伏町けんこうクラブは、町内に16団体ある。その集合体が松伏町けんこうクラブの連合会である。各クラブとも生きがいづくりや健康づくりを主として行っている。
防災行政無線デジタル化により、難聴地域が解消したか、成果を問う。	総務課長 難聴地域の解消を目的として、子局設置場所等の見直しを行っている。平成27年度2局改修し、平成28年度、新たに北部12局の改修工事を行い、すべての難聴地域が解消する予定となっている。